

会 議 結 果 の お 知 ら せ

令和7年度宮古市文化財保護審議会を次のとおり開催しました。

令和7年11月13日

宮古市文化財保護審議会

- 1 開催日時
令和7年10月8日（水） 午後3時00分～午後4時50分
- 2 開催場所
崎山公民館多目的ホール
- 3 議題
 - (1) 令和6年度第2回宮古市文化財保護審議会に係る経過報告について
 - (2) 令和7年度宮古市文化財保護事業計画及び実施状況について
 - (3) 宮古市文化財保存活用地域計画推進協議会の会議結果について
 - (4) 国登録有形文化財「盛合家主屋」及び国登録記念物「盛合氏庭園」について
- 4 会議の概要
別添のとおり
- 5 問い合わせ先
教育委員会事務局文化課学芸係 電話0193-65-7526

令和7年度宮古市文化財保護審議会 開催結果

1 出席者（9名）

池田理恵・神楽栄子・佐々木重光・佐々木信一・高橋洋樹・武内 寛・豊坂一寿・中嶋奈津子・柳澤忠昭

2 欠席者（1名）

尾形洋一

3 事務局出席者（12名）

教育長 伊藤晃二、教育部長 田代明博、教育委員会事務局文化課長 假屋雄一郎、教育委員会事務局文化課学芸係長 江口邦泰、同係 主査兼学芸員 千葉剛史、主査 中島昌紀、学芸員 菊池駿貴、施設管理事務員 佐々木亜希子、教育委員会事務局文化課埋蔵文化財センター所長 長谷川真、同係 文化財調査員 上條瑞貴、教育委員会事務局文化課市史編纂室長 田崎農巳、北上山地民俗資料館館長 安原誠

4 傍聴者 なし

5 議事等

(1) 会長・副会長の選出について

会長に佐々木信一委員が、副会長に武内寛委員が選出された。

(2) 令和6年度第2回宮古市文化財保護審議会に係る経過報告について

前回の審議会で意見があったことについて事務局から経過を報告した。

(3) 令和7年度宮古市文化財保護事業計画及び実施状況について

令和7年度の事業について事務局から報告を行い、承認された。

(4) 宮古市文化財保存活用地域計画推進協議会の会議結果について

令和7年7月4日に開催した宮古市文化財保存活用地域計画推進協議会について、会議の概要を報告した。

(5) 国登録有形文化財「盛合家主屋」及び国登録記念物「盛合氏庭園」について、寄附採納の進捗状況、庭園板塀の現況を報告した。

質疑応答内容

質問・意見	回答
【議題(1)「令和6年度第2回宮古市文化財保護審議会に係る経過報告について」】 <質疑なし> 【議題(2)「令和7年度宮古市文化財保護事業報告について」】 (委員) ミュージアムの弓矢体験で使用されている弓矢について、素材を教えてください。 (委員) ミュージアムの園路整備の頻度はいかがか。 (委員) 寄贈を希望する資料の問い合わせについて、広報等を利用して呼びかけてはどうか。 (意見) (委員) 各地域の文化財について、情報を行政に上げるような、文化財に関連したサポーターを募るといった取り組みが必要ではないか。 (意見) (委員) 近内中村遺跡出土資料における文化庁現品照合の進捗を教えてください。 (委員) 北上山地民俗資料館が主催している伝統的伝統食の講座に参加される方の年齢層を教えてください。	(事務局) 弓はトネリコの木及びカエデである。矢は矢竹である。 (事務局) 草刈りを年間ほぼ毎日実施している。 (事務局) 教育委員会だよりで呼びかけたところ、申し出があった。これからも積極的に収集していく。 (事務局) 文化課が選定した321点について文化庁が照合中である。 (事務局) 川井地域の方が多いが、今年度タイマグラで実施した講座は宮古地域の方が半数であった。

(委員) 北上山地民俗資料館の消防訓練の実施回数と来館者を含んだ訓練か教えていただきたい。	(事務局) 実施回数は毎年度2回である。来館者を対象としていない。
(委員) 北上山地民俗資料館が主催した神楽共演会について、来場者の市内・市外の内訳は把握されているか。	(事務局) 内訳は把握していない。市内が多く、遠野市の神楽保存会による公演があったため、市外では遠野市が多かった。
(委員) 北上山地民俗資料館が主催した「地域の魅力発見」について、成果と今後の展望を教えてください。	(事務局) 成果としては、町と町が結ばれることで経済、社会、文化が育まれたことを伝えることができた。今後の展望としては、地域の現地を歩きながら歴史文化を体感し、地域の魅力に気づいてもらえるような取り組みを実施したい。
【議題(3)「宮古市文化財保存活用地域計画推進協議会の会議結果について」】 <質疑なし>	
(委員) 盛合家住宅主屋及び盛合氏庭園について、倒壊した板塀の復旧の見通しはどうか。	(事務局) 国庫補助金を活用して復旧を図っていき